

# 介護現場から見た ノーリフティングケアの効果 ～あなたは何をしますか～

北九州地域 特別養護老人ホーム 誠光園  
教育担当 作業療法士 中武亜希子



## ご利用者の気持ちを体験

ご利用者には当たり前に行っていた介助方法



羞恥心



恐怖



リスク < 簡単・早さ  
優先されるケア

## 抱え上げをやめたきっかけ



H26年、移乗中と思われる皮下出血や表皮剥離が多発

介護リーダー実践者研修の取り組みとして  
介護職員がスライディングボード移乗を取り入れた

力任せの介護をゼロにするため  
福祉用具の利用が始まる

## 事業計画で「抱え上げない介護」<sup>(注1)</sup> 取り組み開始

注1: 抱え上げない介護とは、ご入居者を守る目的  
ノーリフティングケアとは、職員とご入居者を守る目的

### 必要な福祉用具を揃える



使いやすい環境を整えたことで  
スライディングボードの使用率上がった

# 失敗①



移乗に必要な道具が揃っても...

- 全ベッドを電動ベッドに変えた
- 全てモジュールタイプの車いすに変えた
- スライディングボード必要枚数揃えた
- 職員全員にスラディングシートとグローブを支給
- トイレ用にスタンディングリフトを導入

けど...

- できる職員、できない職員
- 自己流の介助方法
- やらない職員

介助方法の統一が出来ていなかった

ここまでに約2年...



# ノーリフティングケア教育開始

H29年 職員の身体を守り、ご入居者の安全安心な生活を守る  
「ノーリフティングケア」教育が始まる

専門の外部講師による研修開催 (1.5時間の集合研修を不定期開催)

(ノーリフティングケア技術、ポジショニング、シーティング、排泄ケア、口腔ケアなど...)

ノーリフティングケア関連の外部研修へ参加



一部の職員が知識と技術を身につけても  
ノーリフティングケアの質は向上しなかった  
マネジメント、体制づくりが必要と感じた

ノーリフティングケア推進委員会を  
現場職員中心に7名で結成



# 工夫①



# 抱え上げ環境ゼロ！

H30年 唯一、抱え上げを行っていた浴室にリフト導入



- ・ノーリフティングケアの福祉道具が揃った
- ・カンファレンス開始、ケアの見直しを多職種で検討
- ・近隣の病院や施設向けに「施設見学会」開催



## 失敗②



# ノーリフティングケア委員会解散

目標や計画が大まかで細かな修正ができず未達成、未実施が続く

H31年 ノーリフティングケア推進委員会を余儀なく解散

“ノーリフティングケアはやったほうがいい”  
 ということは全職員がわかっていたが、  
 “早く終わらせたい”気持ちが優先され、  
 抱え上げ介護に戻っていった

R2年6月  
NLC普及促進事業  
開始前



前腕と下腿の皮下出血が多くなっていた

## 工夫②



# 福岡県ノーリフティングケア 普及促進事業参加

施設長  
「やるでしょ！」  
と乗り気



でも...  
過去に委員会  
解散したし...

仕事が増える  
さらに余裕がなくなる...

でも...私の力では  
ノーリフティングケアの  
立て直しをできないし...

- R2年6月ノーリフティングケア推進委員会再結成
- 委員会メンバーに施設長が参加
- 職種、社員・パート関係なく、実行力あるメンバーを選出

- 他施設からの取り組み報告でヒントが見つかるかもしれない
- 自施設だけが苦勞しているわけじゃない
- 共感できる仲間がいればモチベーションの維持ができるかもしれない

## マネジメント研修

やってきてたはずなのに  
課題だらけでスタート

- NLC委員会体制づくり
  - 職員教育
  - リスクマネジメント
  - 個別プランニング
  - 福祉用具管理
- 整理整頓**
- +**
- 職員の健康管理**

守るっ隊ルールブック

福祉用具管理マニュアル

アセスメント・プランニング  
のマニュアル

リスクマネジメント  
に関するマニュアル

職員教育マニュアル

健康管理マニュアル

**ノーリフティングケア  
に関する規程**

**マニュアル化**

## 再始動時の問題点

- 新入職員に対して**指導マニュアルがない**
- ノーリフティングケアを継続する**教育カリキュラムがない**
- 福祉用具は使用しているが**腰痛で休む職員**がいる
- ご利用者の生活支援に**職員都合が優先**される
- 手間を嫌がり**スピード重視のケア**をする職員が存在する

**マネジメント  
ができていない**



## 生活の質の向上

介護技術の習得

福祉用具の選定

ケア方法の統一

介護現場からの  
ヒヤリハット抽出

働き続ける職員の身体

ご利用者の  
生活の質の向上

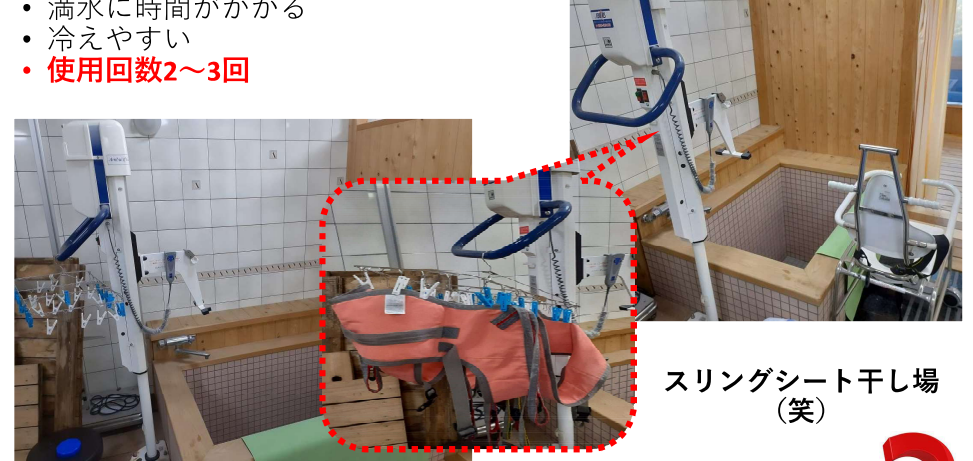
# 改修失敗



## 大失敗！！

### 入浴用リフト(H18年購入)

- 壁に囲まれているため湯に浸かると怖い
- 満水に時間がかかる
- 冷えやすい
- 使用回数2~3回



スリングシート干し場  
(笑)

### 無計画は失敗する

- 移乗は？更衣は？
- どうやるんでしょう...



## トイレや壁の改造 ※誠光園アネックス

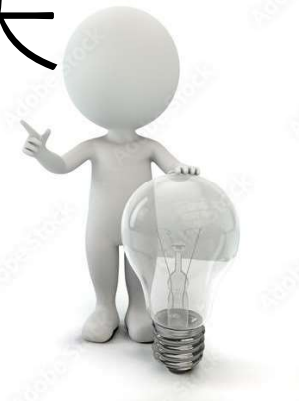
ノーリフティングケア実践のためなら...

便器の向きを変えた

壁を取り壊した



# 改修工夫



抱えて介助することが当たり前だった

- トイレに座らせてあげたい
- 車いすに座って食堂で食事をとってもらいたい



一人で無理なら、二人で、三人で、  
抱えて介助することしか知らなかった

# ノーリフティングケア の効果

～職員～



終業時の疲労軽減



介助の方法が変わったけれど  
ご利用者への想いは変わっていない



# ノーリフティングケア の相乗効果

～ご利用者～



# 疑問だらけの介護施設

- 毎日の申し送りで  
「**臀部にびらんあり**」  
「**表皮剥離があります**」  
「**皮下出血があります**」と毎日報告あり
- 皮膚疾患対策で「**二人で脇脇で移乗**」の指示
- 車いす座位が不良のため  
座面に**滑り止めマット**を使用
- 移乗介助は**抱えて歩いて**車いすへ
- **お姫様抱っこ**で移乗介助
- 車いすは個人専用ではない



滑り止めマット

## 自分の役割

自施設で何ができるか探す

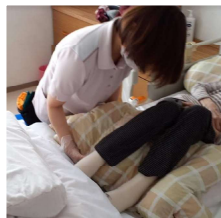
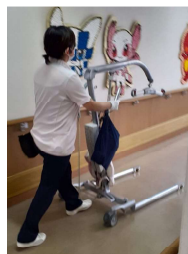


実践するのは主に**介護職員**  
自施設で実践する方策を検討



ご利用者の生活に取り入れる

ご利用者の生活を豊かにするため  
情報発信



# 介護に関する研修に参加

- ベッド上のケア
- シーティング
- ポジショニング
- 移乗
- 排泄
- 摂食
- 権利擁護
- マネジメント
- ノーリフティングケア etc...



## 局所ケアを変える

### <ノーリフティングケア技術>

- ノーリフト協会ベーシック認定者4名
- NPO福祉用具ネット実技認定合格者4名
- リフトリーダー1名

介護業界の変化を外部研修で得る

NPO福祉用具ネット  
実技認定合格者



ノーリフト協会研修参加

### <排泄>

- オムツフィッター1級
- ホルダーパンツ着用
- スタンディングリフトの活用

ご入居者**93.3%**がトイレを利用  
オムツ着用者減少、動きやすいお尻回り



### <摂食>

- 噛める義歯調整（川原式義歯調整）
  - STの定期来園、口腔リハビリ
- 食べる楽しみを少しでも長く  
噛む力は身体機能に比例する



イメージ

